

* 関 勝 則 「時代を映した横浜の歌」 探訪。

《 8 》 美空ひばりの本格的デビュー曲「悲しき口笛」

レコードのシングル盤にはA面とB面があり、A面がメインでB面は「おまけ」的な意味合いがありました。しかも、昔はA・B面で歌手が違うケースが当たり前のような時代、1949(昭和24)年8月に発売された霧島昇の「楽しいささやき」という曲のB面に「河童ブギウギ」という曲で、歌っていたのが美空ひばりです。

磯子区滝頭の鮮魚商の長女として生まれた天才少女歌手は、1947(昭和22)年に杉田劇場で前座歌手として出演。1948(昭和23)年、当時闇市の街として横浜で一番賑わっていた野毛にあった横浜国際劇場の1周年記念公演に藤山一郎、笠置シズ子、小唄勝太郎らと出演。このときの舞台を演出した演出家から「美空ひばり」の芸名を授かりました。そして、B面でのデビューから1か月後、12歳の美空ひばりのA面での本格的デビュー曲が、横浜を舞台に自ら主演した映画の主題歌「悲しき口笛」です。

作詞は淡谷のり子の「別れのブルース」を作詞した藤浦洸、作曲は戦後のヒット曲第1号の「リンゴの唄」の万城目正が手掛けました。この頃、急激に流行歌ブームが訪れ、手回しの蓄音機に代わってラジオ付きの蓄音機が普及し始め、「悲しき口笛」のレコードの売上枚数は史上最高記録となる45万枚を超える大ヒットとなりました。

映画で美空ひばりが演じたのは戦争孤児の「ミツコ」です。戦争に行った兄が出征前に作って妹に教えた歌が「♪丘のホテルの 赤い灯(ひ)も 胸のあかりも 消えるころ～」という歌い出しの「悲しき口笛」という設定。兄はこの歌を手掛かりに妹を探し、犯罪に巻き込まれながらも、最終的に再会するというストーリーです。

ご存知のようにこの時の、シルクハットに燕尾服姿で歌う映像は小さい頃の美空ひばりを代表するものとしてよく取り上げられています。映画には、空襲の跡が残る桜木町駅、港、外人墓地などが描かれていました。

当時横浜国際劇場があった場所で現在ウインズ横浜の斜め前には、「悲しき口笛」にちなんだシルクハットに燕尾服姿の美空ひばり像が設置されています。

美空ひばりは翌年スイング風の「東京キッド」、新潟の郷土芸能、角兵衛獅子を題材にした「越後獅子の唄」、さらに翌年に「私は街の子」、「あの丘越えて」を立て続けにヒットさせ、卓越した歌唱力で歌謡界の女王へと昇りつめていきました。



関勝則の市会日記

第1回 区づくり推進市会議員会議

2月6日に今年最初の区づくり市会議員会議が開かれ、30年度の磯子区予算案が示されましたので、主な新年度事業についてご報告いたします。

磯子区の予算規模は8億323億円で、自主企画事業費が9758万円、区庁舎・区民利用施設管理費が6億8017万円、事務費が2547万円となっています。ここでは主に自主企画事業について取り上げます。

魅力にあふれた住み続けたいまち 関連6事業・2337万円

☆商店街賑わいづくり事業 区役所屋外駐車場で商店街朝市を継続実施。区内の商店街マップを配布し魅力をPR。

☆環境行動推進事業 温室効果ガスの排出抑制等の環境行動を促進し、3R(リデュース・リユース・リサイクル)の普及・啓発活動を推進。

ともに支えあい健康でいきいきと暮らせるまち 関連14事業・3318万円

☆親子の笑顔サポート事業 不適切な養育や子育てに困難を抱える親子に対し、親子関係が円滑になるような啓発や支援を行う。子供との効果的なコミュニケーションやつつけについてのアドバイスをリーフレットとして配布。発達障害児・者の支援者が集まって、情報交換や勉強会を行う。要保護児童や要支援児童を支援するため関係機関と課題共有を図る。

☆区民の健康づくり応援事業 自らの健康に関心を持ち、健康づくりを身近な場所でする。実施できるよう講座やイベントを開催。がん検診啓発事業を新たに実施。

☆青少年育成活動助成事業 学校・家庭・地域が連携した青少年健全育成のさらなる推進を図る。引きこもり等の思春期・青年期問題の総合相談や自立に向けた青少年の居場所である地域ユースプラザを区役所近隣ビルに移転し行政との連携を強化する。

安心・安全で住みやすいまち 関連6事業・1792万円

☆緊急時情報システム運用試行事業 風水害等の緊急情報をコンピュータ音声で一斉に自治会町内会長等に電話連絡し、迅速な災害対応を促す事業を試行。

☆磯子駅前再整備に関する検討 磯子駅前広場のあり方を見直し、賑わいの創出や活性化に資する空間整備に向け、様々な調査を実施する。

おもてなしの心による区民サービス 関連6事業・2310万円

☆区民満足度向上事業 窓口サービスの向上のための職員向け研修を実施。高齢者や外国人に配慮した案内表示の設置。

市民に一番身近な行政である区役所の事業は、特に現場対応力が重要で、職員研修はもとより、いかに相談者に寄り添うことができるかが区民満足度向上につながります。

商店街賑わいや青少年の育成事業に力を注ぐ予算は、磯子の地域力をアップさせる一助となり、磯子駅前広場の再整備は磯子の発展につながります。

また、区民満足度向上事業は、区民満足度向上に重要な役割を果たす。職員研修はもとより、いかに相談者に寄り添うことができるかが区民満足度向上につながります。